

◆「伝統建築工匠の技」を考える◆

第 49 回無形文化遺産理解セミナーを開催します

堺市では、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）が賛助するアジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）と連携し、無形文化遺産とその保護に関する理解の普及促進に取り組んでいます。

このたび、堺市博物館で無形文化遺産理解セミナーを開催し、令和 2 年にユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」を紹介します。

1 第 49 回無形文化遺産理解セミナーの概要

日時	令和 7 年 10 月 12 日（日）午後 1 時～午後 2 時 30 分
場所	堺市博物館ホール（堺市堺区百舌鳥夕雲町 2 丁 大仙公園内） 交通：JR 阪和線「百舌鳥」駅より西へ約 500m 南海バス「堺市博物館前」停留所より南へ約 280m
テーマ	メンテナンスやリサイクルから読み解く伝統木造建築の歴史
概要	- 日本の伝統木造建築の技術やデザインの特徴を、メンテナンスやリサイクルのしやすさ、継ぎ接ぎの美といった「守り伝えた技術」の視点から読み解きます。 - 有形の木造建築とそれを支える無形文化遺産が織りなした、伝統建築を守り伝えた歴史を紹介します。
講師	中村 琢巳 氏（東北工業大学 教授）
定員	80 名（事前申込制・先着順）
申込方法	令和 7 年 9 月 22 日（月）午前 10 時に受付を開始します。 以下のいずれかの方法でお申し込みください。 【電話】072-245-6201（堺市博物館 無形セミナー係） 【堺市電子申請システム】 https://lgpostask.aspnet/cj/271403/ea/residents/procedures/apply/5438455c-c672-4a39-b207-0b4d1feb2450/start
参加費	無料
主催	堺市
協力	独立行政法人国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）

2 ユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」

○概要

木・草・土などの自然素材を建築空間に生かす知恵、周期的な保存修理を見据えた材料の採取や再利用、健全な建築当初の部材とやむを得ず取り替える部材との調和や一体化を実現する高度な木工・屋根葺・左官・装飾・畳など、建築遺産と一緒に古代から途絶えることなく伝統を受け継ぎながら、工夫を重ねて発展してきた伝統建築技術。

歴史的建築遺産と技術の継承を実現する適切な周期の保存修理は、郷土の絆や歴史を確かめる行事であり、多様な森や草原等の保全を木材、檜皮、茅、漆、い草などの資材育成と採取のサイクルによって実現するなど、持続可能な開発に寄与するものである。

○構成要素

国の選定保存技術のうち以下の 17 件

「建造物修理」、「建造物木工」、「檜皮^{ひわだ}葺・柿^{こけら}葺」、「茅^{かや}葺」、「檜皮^{ひわだ}採取」、「屋根板製作」、「茅^{かや}採取」、「建造物装飾」、「建造物彩色^{さいしき}」、「建造物漆塗^{うるしぬり}」、「屋根瓦葺（本瓦^{ほんがわ}葺）」、「左官（日本壁）」、「建具製作」、「畳製作」、「装^{そう}潢^{ごう}修理技術」、「日本産漆生産・精製」、「縁^{えん}付^{つけ}金箔^{きんぱく}製造」

3 パネル展示「日本の無形文化遺産」

会期	令和 7 年 11 月 3 日（月・祝）まで
場所	堺市博物館 文化遺産展示室（堺市堺区百舌鳥夕雲町 2 丁 大仙公園内）
内容	ユネスコ「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載される日本の無形文化遺産全 23 件を紹介し、日本の文化の多様性及び無形文化遺産保護の重要性を紹介します。

4 その他

セミナーの詳細等は、以下の堺市ホームページをご確認ください。

<https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/unesco/renkei/mukeiR7.html>

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課 電 話：072-245-6201 フ ァ ッ ク ス：072-245-6263
----------------------------	---



保存修理後の鉄炮鍛冶屋敷（井上関右衛門家住宅・堺市指定有形文化財）

「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」
（令和2年にユネスコ無形文化遺産に登録）

以下17件の国の選定保存技術から構成

「建造物修理」、「建造物木工」、^{ひわだ}「檜皮葺・柿葺」、^{かやぶき}「茅葺」、^{ひわだ}「檜皮採取」、^{かや}「屋根板製作」、^{かや}「茅採取」、^{さいしき}「建造物装飾」、^{さいしき}「建造物彩色」、^{うるしぬり}「建造物漆塗」、^{がわらぶき}「屋根瓦葺（本瓦葺）」、^{ほんがわらぶき}「左官（日本壁）」、「建具製作」、「畳製作」、「装演修理技術」、「日本産漆生産・精製」、「^{えんつけきんぱく}縁付金箔製造」

令和7年 10月12日(日)
午後1時～午後2時30分

講師：中村 琢巳氏 東北工業大学教授

会場：堺市博物館ホール

定員：80名 参加無料 申込先着順

申込：9月22日(月) 午前10時から、電子申請システム・

電話にてお申込みください。詳しくは裏面をご覧ください。

―森を守り、生活文化を伝承させたサステイナブルな技術

メンテナンスやリサイクルから読み解く
伝統木造建築の歴史

無形文化遺産は「生きている文化遺産（living heritage）」で、人々の絶えない実践・再現によって、世代から世代へと伝承されます。また、無形文化遺産は自分らしさを保つ文化的アイデンティティの拠り所で、無形文化遺産の保護は文化の多様性を保護することになります。

パネル展示「日本の無形文化遺産」

会場：堺市博物館 文化遺産展示室

会期：令和7年11月3日（月・祝）まで

ユネスコ無形文化遺産
代表一覧表とは？

日本の
無形文化遺産は
全部で何件？

どんなものが
ありますか？

パネル展示から答えを見つけましょう



主催 堺市

協力 アジア太平洋無形文化遺産研究センター

堺市博物館
SAKAI CITY MUSEUM

メンテナンスやリサイクルから読み解く伝統木造建築の歴史 — 森を守り、生活文化を伝承させた持続可能な技術

日時：10月12日（日）午後1時～午後2時30分

講師：中村 琢巳氏 東北工業大学教授

木や土、草、竹といった自然素材を組み立てて、美しく仕上げる日本の伝統木造建築は、メンテナンスやリサイクルを繰り返し、ながく使いつづけることを高度に洗練させた持続可能な技術です。民家や寺社、茶室などの身近な伝統建築の事例に基づいて、その技術やデザインの特徴を、メンテナンスやリサイクルのしやすさ、継ぎ接ぎの美といった「守り伝えた技術」の視点から読み解きます。

さらに、伝統木造建築を守り続けることは、大工や屋根屋、左官、建具屋といった諸職の技術継承に加えて、森林資源などの自然環境の保全、地域固有な生活文化（住まい方）の伝承といった多彩な無形文化財と密接な関わりをもちます。最近とくに着目されている「古民家再生」の系譜も含めて、有形の木造建築と無形文化遺産が織りなした、伝統建築を守り伝えた歴史を紹介します。



茅葺き民家（福島県前沢伝統的建造物群保存地区）



茅刈り（宮城県石巻市北上川河口域）



庭の雪囲い（青森県弘前市仲町伝統的建造物群保存地区）



黒板塀の修繕（同左）

写真提供：中村 琢巳氏

《定員・お申し込み方法》

定員：80名（参加無料・要申込・先着順、展示の観覧は別途観覧料が必要）

令和7年9月22日（月）午前10時より受付開始。

電子申請システム・電話にてお申込みください。

堺市博物館 無形セミナー係 TEL.072 (245) 6201



電子申請システム

堺市博物館

SAKAI CITY MUSEUM

〒590-0802

大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内

TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263

https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/

●開館時間 9時30分～17時15分（入館は16時30分まで）

●休館日 月曜日（ただし、10月13日、11月3日は開館）

●観覧料 特別展期間（9月20日（土）～11月3日（月・祝））

一般 1000円（800円）

高校・大学生 500円（400円）

小・中学生 250円（200円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※常設展のみの観覧料は下記HP等でご確認ください

※堺市内在住・在学の小・中学生は無料

※堺市在住の65歳以上の方、障害のある方は無料（要証明書）



堺市博物館 HP



Facebook



Instagram



堺市博物館公式キャラクター
サカイタケくん

©YABUCHI Satoshi



世界遺産
World Heritage Site of Osaka

百舌鳥
古市古墳群

Mozu-Furuichi
Kofun Group



unesco
Centre
Under the auspices
of UNESCO



International Research Centre
for Intangible Cultural Heritage
in the Asia-Pacific Region

独立行政法人国立文化財機構

アジア太平洋無形文化遺産研究センター

International Research Centre for Intangible Cultural Heritage
in the Asia-Pacific Region (IRCI)

〒590-0802

大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 堺市博物館内

TEL.072 (275) 8050 FAX. 072 (275) 8151

https://www.irci.jp



◆交通案内

電車 JR阪和線「百舌鳥」駅下車約500m

バス 南海高野線「堺東」駅から
南海バス（140系統で約10分）、
バス停「堺市博物館前」下車約280m

駐車場 大仙公園第3駐車場
（仁徳天皇陵古墳東南・有料）